

佐藤 幸一 議員

物価高騰で苦しむ 町民生活の支援について

町長 基本水道料金の減免について 対策の一つとして検討していく

問

ロシアのウクライナの侵攻や円安等の影響で生活必需品の値上がりで町民生活を直撃している。電気代は17カ月連続で値上げが続き、町民は日々の生活に苦しんでいる。国の地方創生臨時交付金の活用で家計と地域経済をともに支える必要があると思うが町長の考えを伺う。

(1) 上下水道料金の一
律免除

(2) 地域活性化商品券
のプレミアム率の大幅な
引き上げ

(3) ごみ収集袋の無償
配布

(4) 公衆浴場入浴料の
据え置き



公衆浴場券売機

町長

小項目1に
ついて、水
道基本料金の減免は、申
請が不要で広く多くの住
民を支援する目的として
は有効。町としては、低
所得者などの物価高騰の
影響が、より大きい方に
支援を優先的に行うが、
状況を見ながら、対策の
一つとして検討したい。

小項目2について、今年度、プレミアム率30%商品券を1回、20%商品券を2回予定のところを10月発行分をさらに10%上乘せし、プレミアム率を30%で補正予算で議決した。また、購入者の希望組数どおり購入できるよう予算配置していることから、今年度においては、令和元年度より約5倍の商品券が町内で流通する予定である。

小項目3について、広く町民生活支援につながるが、本町は低所得者など物価高騰の影響が大きい方に支援を優先したい

と考えており、現時点で無料配布の考えはない。

小項目4について、公衆浴場の収支バランスは大変厳しい。令和5年4

しみず温泉フロイデ看板の 町有地不法占拠問題について

町長 粘り強く相手の理解を求めて行く

問

私は、フロイデ看板の町有地不法占拠問題を何度も取り上げ解決を求めてきた。執行側は元年度決算審査の中で「法的に進めていきたい」と答弁しているが、あれから2年間、訴訟の議案も提出されていないし行政報告もない。

国道274号の看板は風により飛ばされ、枠だけとなっている。

他の看板も非常に危険な状態になっている。

早急に解決を図る必要があるが、今後の対応について伺う。

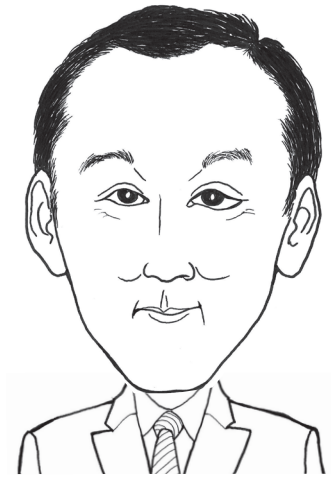
月1日から道の統制額に合わせて引き上げるよう、使用料等審議会へ諮問する考えである。

町長

令和4年3月に、相手

方に看板の所有権を町へ譲渡する確認書を同封し、看板の今後の管理意向を照会したが、相手方からの意思表示は現在のところない状況である。看板の危険状況を確認しつつ、粘り強く理解を求めて行こうと考えている。

飼料高騰対策について



山下 清美 議員

町長 支援や要請活動を行うとともに、
自給飼料増産に向けた対策を行う

問

今年に入り、配合飼料等の高騰が続いており、町内の酪農・畜産業への経営負担が増大していると思われる。町として、町内酪農畜産関係者の前年度比較などの状況を現在のどのように把握しているか。その現状によつては町としても何らかの取り組みが必要と思われるが、町長の考えを伺う。

町長

配合飼料等の高騰については、2年前と比較すると1頭当たり年間で約

2万4千円の値上がりとなつており、養豚業でも年間約3千円の値上がりとなつている。酪農業においては飼料高騰だけではなく、乳製品在庫の過剰に伴う増産抑制に加え、副収入として見込む初生雄牛価格も暴落しており、酪農経営は悪化している状況にある。今後においても高騰し続けている配合飼料等に対しての支援や、各関係機関と連携し要請活動を行うとともに、自給飼料増産に向けた対策を行う。



配合飼料のタンク

農作業人材不足の現状と農福連携の可能性について

町長 各地の事例を調査し、協議する

問

農家戸数が減少し、各農家の規模が拡大、大型機械化が進む中でも、手作業が必要な部分もあり人手を探すのに苦労しているという話を聞くことがある。

反面、少しでも働きたいと思つている障がい者の方もいると思う。今までは福祉の取り組みとして就労先を探ってきたが、農業関係からのアプローチで農福連携を模索してはどうか、町長の考えを伺う。

町長

労働力不足解消の手段として、農福連携の取り組みは各地で様々な事例が報告されているが、畜産現場においては、大型動物を扱うリスクや防疫上の観点からも制約は大きく、年々増加傾向にある農作業事故への不安もあるところである。一方で、障がい者の方は、自然や動物と触れ合うことで療育面の効用も期待されている。今後、農林課において、各地の事例を調査し、本町における農福連携の取り組みについて、協議していく。